

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援事業所 ステップあそかの園		公表日		2025年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		工夫したスペース作りを意識し、一人ひとりの状況にあった環境を提供できるよう支援します。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		基準上必要な人員に指導員を1人増やして配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		バリアフリー化されています。利用されるお子様の状況に合わせた環境作りに努めています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		子どもの状況や、活動にあわせて、活動する場所や、関係性による集団の作り方等も考えながら、環境調整を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		環境上、不安定になる状況がある場合など、環境調整のために、個別の環境にしたりとできる限りの配慮を行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		日々のミーティングや、定期的な会議の中で、職員が意見を出し合って業務改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者向けに年に一度のアンケートを行っています。内容を参考に業務改善にとり組んでいます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員の皆が会する会議や普段からの意見を取り入れて業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者評価は現在未実施となっています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		資質の向上を目指し、必要に応じて内部研修や、外部研修を行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		4		支援プログラムは、令和7年度4月に公開いたします。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		個々のアセスメントを行い、成長段階や特性を把握した上で、子ども、保護者のニーズや課題に取り組みするよう個別支援計画の作成を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		計画の策定時には、（案）の策定後、職員も参画した上で策定会議を開催し、現在のお子様の芽生えや状態を検討しながら計画を作成することで、職員の共通理解を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		職員も参画した上での策定会議を行う事で、職員間で計画を共有した上で支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		標準化されたアセスメントシートを利用し、必要に応じて見直しを行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		放課後等デイサービスガイドラインを参考に、支援のねらいや、支援内容も踏まえながら、具体的な支援内容を設定するよう心掛けています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		個別で対応するプログラムも多いため、安全に活動プログラムが行えるよう職員皆が立案に関わっています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		子ども達の興味、関心、特性、成長段階等に配慮したプログラムとなるよう工夫を行います。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動と集団活動をバランスよく取り入れる事で、子どもの成長に有意義に働きかける事ができるよう工夫を行います。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		午前のミーティングでその日の流れを職員全体で共有し、安全に活動が行えるよう配慮を行います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		業務終了後支援の気付きを皆で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		支援の検証、改善につなげていける記録を心がけ工夫を行ないます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		原則6か月に一度の見直しを行っています。必要に応じて都度見直しを行います。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4		ガイドラインの基本活動を参考に支援の展開を考えています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		意思表出支援などを取り入れながら自己決定の力を育てる為の支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当を中心に支援を行う体制ですので、基本担当者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じ、関係機関と連携しながら支援を行うようにしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校送迎時や、担当者会議等で学校との情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		必要に応じ、利用前の情報共有等努めます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		必要に応じ、利用前の情報共有等努めます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		児童発達支援センター等の研修等に積極的に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		現在のところ機会が無いのが現状です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		自立支援協議会、子ども部会に所属しています。定例会や、部会内でのワーキンググループに参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々の送迎時の情報交換や、連絡帳での情報共有を大切にしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		ご家族の方に寄り添った支援を行って参りたいと考えています。家族等の参加できる研修の機会などの情報提供は行っていきます。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時にお話ししますが、分からない事があればご相談ください。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		こどもさんや、ご家族のご意向を踏まえサービスの提供を行っています。また、送迎の際や、再契約時には聞き取りを行いながらサービスの提供内容を考えていきます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		個別支援計画を示しながら支援内容をご家族に伝え同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		こどもさんや、ご家族に寄り添った支援に心掛けています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		必要に応じ開催したいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情対応窓口が責任者となっております。又、苦情受付箱を設置しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		法人の会報、ホームページでの配信等行っていきます。長期休みには予定表を事前に配布します。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報については、法人内の規定があり、内部研修を行う事等で意識を上げるよう心がけています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		それぞれの特性に応じた意思伝達を意識し、伝える事を第一に工夫をするよう考えています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		関係者の見学や、実習の受け入れなどを積極的にを行い、地域に開かれた施設を目指しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し全職員と共有しています。家族の方にも取り組み内容を周知するよう努めます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		業務継続計画（BCP）を作成しており、非常時の発生に備え、職員への周知、定期的な避難、や必要な訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		保護者から、事前の情報を受け、必要な対応に努めています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者から、事前の情報を受け、必要な対応に努めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成しており、全職員と共有した上で、安全管理を行い。安全な環境の中で支援を行うよう努めています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		安全計画を立案し家族の方にも取り組み内容を周知するよう努めます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事故やヒヤリハット記録を職員全体で把握、検討、共有することにより再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		障害特性における研修及び、人権擁護、法人理念などを浸透させることにより、職員が高い意識を持って利用者への対応を行うよう日々努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束に関しては、虐待防止身体拘束適正化委員会を設置しており、拘束の必要がある場合には委員会での十分な検討とご家族への十分な説明を行ったうえで慎重に進め、個別支援計画への記載を行います。		